わんパーク大館(大館少年自然の家) プログラム紹介シート 野外活動

グリーンウォッチング

グループごとに野外コースを歩き、コース上に設定されたチェックポイントにある樹木を観察し、ヒントをもとにその樹木の名前を当てる野外活動です。所要時間の目安は2時間としていますが、1時間程度で実施可能なミニコースも選択できます。

【ねらい】

自然の家周辺に自生する樹木を観察し、それぞれの樹木の特徴について仲間と話し合う活動を通じて、身近にある自然環境の豊かさを実感したり、樹木についての興味を高めたりすることができる。

主に育成が期待できること (重点的なもの: 関係のあるもの:)

| 学習指導要領に示されている資質・能力 | "「問い」を発する子ども"の具体的な姿 | |
|-------------------------------------|---------------------|--|
| 実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能 | 問題を発見する姿 | |
| 未知の状況にも対応できる 思考力、判断力、表現力等 | 他者と関わろうとする姿 | |
| 学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等 | 主体的に問題を解決する姿 | |

| 【対象学年(年齢)】 | 小学校高学年~中学生 |
|------------|--|
| 【人数・グループ】 | 60人程度・1グループ4~5人 |
| 【服装・持ち物】 | 野外活動に適した長袖・長ズボン 熊鈴 帽子 軍手 汗ふきタオル 飲み物 |

こんな学年・学級におすすめです!

・総合的な学習の時間等で、SDGs (に関する取組)や、環境(森林)学習をテーマとした学習を進めていこうとしている学年・学級におすすめです!

実生活 (学校や家庭等)でこのように活用することも可能です!

- ・「わんパーク大館(大館少年自然の家)」と「学校や家の周り」の樹木や植物と を比較するなど、自由研究等に活用することも可能です!
- ・活動を振り返ることで、実体験に基づいた環境教育を進めることも可能です!

【展開例】

事前学習・準備

- ・活動の目的や持ち物を確認、事前のグループ分けをする。
- ・身近な樹木や植物の種類や名称等について調べる。 (必要に応じて)

時間 活動内容 留意点 5 活動のめあてを確認する。 樹木を観察しながら、身近な自然に親しみをもとう。

- 1 5 2 活動の見通しをもつ。
 - ・活動内容や活動時に注意することを知る。
 - ・観察するポイントを確かめる。
 - ・グループごとに、作戦を話し合う。

- (1)コース図を見て、 番号プレートを探す。
- ②解答用紙に、 樹木の名前を書く。

|樹木の名前は、選択肢から選ぼう!||・八千が来たら動かなり!

- ・歩いて!
- ・班のみんなで!
- 草や木にむやみにさわらない!
- ||・ヘビには構わない!

- ・活動への意欲を高めるた めに、樹木に触れた経験 等を聞きながら、山林に はたくさんの種類の樹木 があることを伝えます。
- ・活動内容や注意点につい て視覚的に捉えることが できるように、図や写真 を用いて確認します。



【安全管理】

- ・各班の活動時の位置が確 認できるように、各班の リーダーにゼッケン(ビ ブス)を配付します。
- ・コースで迷いやすい所や 危険箇所を確認します。



| | # # # # # # # # # # # # # # # # # # # | | |
|------|---------------------------------------|---|-----------|
| No. | 木の名前 | 樹木の並知識 | 観察して発見したこ |
| 30 | | 6〜T月に毛生のような初の花をつけ 5、男は食用。 | |
| 2 | | 耐皮に戻して、木材は白くきれいで「こ けし」の材料に使われる。 | |
| 3 | | 注意!さわるとかぶれる (かゆくなる)。 | |
| 100 | | 新になると一番単く北東する。 走の色から「ベニヤマDDD」とも | |
| 4 | | 帯ばれる。 | |
| 5 | | 鉄田県の駅の木。花町は「花町組」の 虫を原因になっている。 | |
| 6 | | この難にはめずらして秋に修業する。 | |
| B | | 不対は嫌疑的として多く使われる。 書もがよく、この様で良いつまようと | |
| 7 | | が作される。 | |
| | | 質が多い環境に適した水。 | |
| | | 背景や在、東はどれもクマの大好物。 実はドングラ。 | |
| .8 | | 樹族にはいろんな見れが集まる。 | |
| 10 | | 実は「9」のものより少し大きめ。 | |
| 1.1 | | 大水の棚をにマイタケが生えるごとも… 第3千穀桶に強く、南岸より内側に多 | |
| * 1 | | く見られる。 深くい心地や北海道に多く見られる。 | |
| 12 | | 「高原の妻公子」と呼ばれることも… | |
| 10 | | 「高原の構公子」と呼ばれることも 甲巻に吹く買っ自な担は、とても高い。 | |
| | | 者やがする。 可能はもちろん教徒の事務も美して、 | - |
| 14 | | Bullyton (2006) 12 | |
| 15 | | 高級単の発花、毎年ラ月報講際になる 担は、自然の家の名称になっている。 | |
| 16 | | 資の存に色づく第三、薬の得たても核り | |
| 1.0 | | 赤い小さな実が特徴。 大いクリのような大きな実から、おもち | |
| 17 | | 形化态れる | |
| 1.6 | | 節のお見見と含えばこれ | |
| - 00 | | 秋に色づく集もとてもされい。 海岸線でよく見られる。 | |
| 1.0 | | 建液に成されず、延縮になったあのま。 とこもによるまで長命なる。 | |
| 2.0 | | とてもじょうがで長命な木。 実は食べられるが、Maricおいがー | |



・子どもたちが話し合いな がら活動できるように、 コース図と活動シートを 配付します。

85 3 グループごとに活動する。

- ・活動シートを基に、樹木を観察し、特徴を調べる。
- ・調べた特徴についてグループで話し合い、樹木の名称 を予想する。







活動の中でこのような場面があります!

どんなところに着目して観察するか、話し合う。

話し合ったことを基に観察し、名前を予想する。

10 4 活動のまとめをする。

- ・注目した樹木の特徴について、グループで話し合った ことを発表し合い、意見交流する。
- 5 5 活動の振り返りをする。
 - ・活動で振り返ったことを発表する。

【安全管理】

- ・自然の家の職員が安全確認のため、先に出発します。また、最後の班の後方にも職員が付きます
- ・自然の家の職員は、トランシーバー、熊撃退ススレー、スズメバチ撃退スプレー、救急バックを常備しています。先生方も安全面で必要な持ち物を携帯してください。
- ・先生方は、「班の子どもたちと一緒に行動」または「コースで迷いやすい所で待機」をお願いします。

【指導のポイント】

・先生がいる場合は、葉の 形や幹の模様、木の実の 他に、視覚以外の特徴(手 触りや匂い等)について も気付けるように助言し てみてください。



ただし、グリーンウッチング 3番は「やまうるし」のため、 手で触れることができません。

・個々の変容を見取るため に、「森や樹木についての 考えが、活動前後でどの ように変化したか」とい う視点を与えます。

事後学習の例

- ・自然環境について考え、SDGSの学習に発展させる。
- ・印象に残った自然の様子について作文や俳句、絵で表す。